

# 令和4年度第1回滝沢市産業振興会議 会議録

## 1 会議の名称

令和4年度第1回滝沢市産業振興会議

## 2 開催日時

令和4年8月5日（金）10時00分～11時55分

## 3 開催場所

滝沢市役所4階 中会議室

## 4 出席状況

### (1) 会議を構成する委員

会長	市島 宗典	岩手県立大学総合政策学部 准教授
副会長	百目木 忠志	滝沢市自治会連合会 会長
委員	阿部 正喜	滝沢市商工会 会長
委員	中島 恒夫	一般社団法人滝沢市観光物産協会 会長
委員	渡邊 美香子	新岩手農業協同組合 滝沢支所 支所長
委員	小野寺 宣元	株式会社東北銀行 滝沢支店 支店長

### (2) 滝沢市

市長	主濱 了（途中退席）
経済産業部長	木下 昇三
観光物産課長	大槻 智康
農林課長	松本 理
企業振興課長	佐々木 敬志
企業振興課 主査	佐々木 佑

## 5 傍聴人の有無

なし

## 6 会議資料の名称

### (1) 次第

### (2) 名簿

### (3) 資料1 滝沢市産業振興条例の展開

### (4) 資料2 令和3年度に開催した産業振興会議における主な意見等

### (5) 資料3 産業振興施策について【商工業分野】

### (6) 資料4 産業振興施策について【農林業分野】

### (7) 資料5 産業振興施策について【観光物産分野】

### (8) 参考資料 滝沢市産業振興条例

## 7 会議記録

### (1) 開会

### (2) 委嘱状交付

今年度、新たに委員となった百目木忠志委員と渡邊美香子委員の2名に対して、主濱市長より委嘱状を交付。

### (3) 挨拶

主濱市長、市島会長より挨拶。

市島会長から、挨拶と併せて、滝沢市の産業振興（購買の傾向等）についての情報提供があった。

### (4) 出席者自己紹介

今年度1回目の会議となること、委員及び事務局ともに変更があったことから、自己紹介を行った。

### (5) 副会長の互選

互選の結果、百目木委員が副会長を務めることとなった。

### (6) 議題

市島会長が議長を務め、議題（1）、（2）ともに公開することについて、出席した委員から承認を受けた上で議事の進行がなされた。

議事に入る前に、「資料1」及び「資料2」に基づいて、滝沢市産業振興条例の今後の展開について事務局より説明するとともに、昨年度開催した滝沢市産業振興会議の振り返りを行った。

## ア (1) 今年度の産業振興施策について

### 【進行】会長

「商工業分野」、「農林業分野」、「観光物産分野」それぞれについて説明願う。はじめに商工業分野について説明願いたい。

### 【説明】企業振興課長

※別紙「資料3」の内容に沿って説明を実施。

### 【質疑】委員

産業用地の確保を進めるとのことだが、経済産業部だけでなく部を横断する組織等はあるか。

### 【回答】経済産業部長

短期、中期、長期的な視点で、様々な手続きを含めた進め方等について、関係部署が集まる場を作って情報共有しながら進めていく。

### 【質疑】委員

滝沢市役所前の土地を農業振興地域から外したばかりではあるが、滝沢中央スマートインターチェンジ周辺が産業用地の確保における狙い目と思われる。どのように考えているか。

### 【回答】経済産業部長

スマートインターチェンジ周辺は農業振興地域であり、現時点では進めるのが難しいかもしれない。岩手県立大学周辺が産業用地の候補の一つではあるが、県用地であり、今後、県と交渉していく必要がある。

**【質疑】委員**

大学との連携はあると思うが、学生ベンチャーの支援は行われているか。

**【回答】企業振興課長**

支援制度はないが、イノベーションセンター内のシェアオフィスに学生ベンチャーが2社ほど既に入っている。人材育成として学生と企業をつなぎ合わせ、経営者と色々な情報交換ができるような場は設けたい。

**【回答（補足）】経済産業部長**

経営を分かった上で会社を立ち上げているものでないことが多いと思うので、セーフティネットではないが、転んだ時に起き上がるよう、イノベーションセンターの入居企業の経営者と話ができる場の創出など、実際の経営を学ぶことができる機会を設けてあげたいと考えている。

**【進行】会長**

次に、農林業分野について説明願いたい。

**【説明】農林課長**

※別紙「資料4」の内容に沿って説明を実施。

**【質疑】委員**

猟友会の人員が少なくなっていると聞いたが、人材育成は行われているか。

**【回答】農林課長**

全国的に猟友会の会員の高齢化が進んでいるが、罟の資格を取得して自身で設置するという農家の自衛が本市の優先課題であり、人材育成は今後の検討課題となる。

**【質疑】委員**

デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した地域農業の担い手となる法人設立ということで説明があったが、市が中心になって法人を設立するイメージか。

**【回答】農林課長**

市でも支援はするが、その地域の農家の合意によって法人を設立するもの。今回は、3つの地区で進めている。

**【回答（補足）】経済産業部長**

今回は3つの地区で進めているが、それらの地域の担い手も潤沢ではないのが現実であり、若い人たちが入りやすい環境を整えていく必要があると考えている。

**【質疑】委員**

滝沢市の農業分野における外国人の技能実習生の状況はどうなっているか。

**【回答】農林課長**

本市の場合、実績は多くないが、技能実習生を雇用している農家が何件かあることは把握している。規模にもよるが、通年での雇用はなかなか難しいのかもしれない。

**【進行】会長**

最後に観光物産分野について説明願いたい。

**【説明】観光物産課長**

※別紙「資料5」の内容に沿って説明を実施。

**【質疑】委員**

醸造用ブドウという話があったが、具体的にはどのようなものか。

### 【回答】観光物産課長

県外でワイン醸造に携わってきた者を昨年度から地域おこし協力隊員として委嘱している。盛岡市出身で、Uターンで戻ってきた形。盛岡広域でブドウを生産し、ワインを作りたいという意向を持っており、土壌分析及び気候条件をもとに考えた結果、本市がブドウ栽培に適すると判断し、本市の地域おこし協力隊募集に応募したようだ。現在、就農1年目。委嘱期間中の3年間でワインの完成まで到達しないが、ブドウの生産からワインの醸造までの全てを市内で行いたいという意気込みを持っているので、市の産業振興に向けて、市として支援していく。本市の現在の地域おこし協力隊員は、その1名のみ。

### 【意見】委員

近隣の市町には酒を造るところがあるが、現時点で滝沢市にはないので、地域おこし協力隊員には、ぜひ頑張ってもらいたい。

### 【回答】経済産業部長

地域おこし協力隊制度は、若い人のいない田舎に3年間来てもらい、将来的に住んでもらうことを目指すというのが始まりだったと記憶している。現在は、都会から地域に行って何かを起こすようなものになってきている感じがあるが、本市と将来的にどのように関わってもらうかという点が非常に重要と思っている。今年の春には、ブドウの苗を市内の子ども達と一緒に植えるイベントを行うなど、地域と関わりながら活動しているので、長い目で皆さまにも見ていただきたい。

### 【意見】委員

市内で羊牧場を営む若手事業者がいるが、そろそろ出荷できる段階になる。観光物産分野で援助してもらえると良いと思っている。

### 【回答】経済産業部長

若手が頑張っているので、各々が生産するものを楽しみにしながら支援したい。

### 【質疑】副会長

滝沢市のふるさと納税の状況はどうなっているか。

### 【回答】観光物産課長

例年4,000万円ほどの寄付金がある。返礼品としては200種ほどの商品を出している。今年度は4,500万円の寄付を目標としたい。

### 【質疑】委員

株式会社滝沢村という会社があると思うが、市の支援状況はどうなっているか。

### 【回答】観光物産課長

一昨年度に設立された会社であるが、閉館した温泉施設「お山の湯」を借りて事業を行いたいということで、財産の無償貸付を行っている。体制を整えながら、キャンプやアウトドアに関連するイベントなどを行っているようだ。来年度以降も借りたいという意向があると聞いているので、民間の活力を尊重しながら支援を行い、困りごとなどがあれば相談に乗ることとしたい。

### 【質疑】委員

6月に開催されたチャグチャグ馬コの人出は例年に比べて、どうだったのか。

**【回答】観光物産課長**

滝沢市から盛岡市までの行進路全体で18万4,000人となり、過去最高の人出であった。滝沢市内分はビッグルーフ滝沢で開催したイベントの来場者を公表値としており、15,000人としている。

**【意見】委員**

他市の施設の話であるが、ゴールデンウィーク中の人出が過去最高となったようだ。インバウンド客ではなく近隣の観光客がメインだったようだが、インバウンドに頼ると現在のよう状況になった場合、来なくなってしまふ。近隣の方が来て、市内でお金を使うことで市の産業振興につながるようなイベントになれば良いのではないかと思う。

**【意見】委員**

ラジオの公開放送の効果もあって、ビッグルーフ滝沢で開催したイベントには多くの方が来場した。出店の出店者からも売上が良かったと聞いている。新型コロナウイルス感染症の影響で今年の実現できなかったが、過去に近隣の自治会でチャグチャグ馬コの際に行っていた子ども神輿を来年度はやれたら良いのではと思う。

**【回答】経済産業部長**

人数的にもそうだが、ビッグルーフ滝沢で開催したイベントは、来場者の滞在時間が非常に長かったようだ。新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、今後どのように動いていくのが良いか、関係機関と連携しながら考えていきたい。

**【質疑】委員**

年間通してチャグチャグ馬コを体験できる場所は市内にあるか。

**【回答】観光物産課長**

有料であるが、馬っこパークいわてで体験可能。

**【意見】委員**

今、馬がブームであり、チャンスでもあると感じている。岩手競馬も売上が良い様子で、馬に関するキャラが登場するアプリも人気である。何か活かせれば良いのではないか。

**【回答】観光物産課長**

チャグチャグ馬コの出馬頭数について、平成初期は100頭以上であったが、今年度は役員馬を入れて60頭ほどであった。行事の日だけでなくチャグチャグ馬コを見ることができ、PRする場を増やしていきたい。

**イ (2) その他**

**【進行】会長**

次に、議題(2)その他について、情報提供や意見などあれば発言願う。

**【意見】委員**

滝沢市産業振興条例の制定前と制定後で、市の仕事に関する市内事業者の受注状況があまり変わっていないように思う。発注状況に関して、市側で「見える化」をするのは可能か。

**【回答】経済産業部長**

入札の結果を公開しているので、どの事業者が落札したかは「見える化」している。ただ、公表できる部分と公表できない部分があるので、市と市内事業者がお互いに勉強しながら、理解を深めていくことが必要だと考える。

**【意見】委員**

次回の会議以降、配布資料を事前に送ってもらうことは可能か。事前にもらえれば、資料に目を通して自分が分からない部分を調べた上で会議に参加することができる。

**【回答】経済産業部長**

次回の会議以降、配布資料は事前に送付する。

**【進行】会長**

以上で議事を終了する。

**(7) その他**

**【進行】企業振興課長**

議事と別の点で、その他として何かあれば発言願いたい。

特に、発言等なければ、事務局から1点提案したい。昨年度より開催している滝沢市産業振興会議であるが、市の施策を説明することが主な会議内容となっていたが、より内容のある意見交換を行い、産業振興に資するものとするために、開催する会議ごとにテーマを設けることができればと考えている。

他の自治体の産業振興会議の例をみると、部会制を導入している自治体もあるが商工会や観光物産協会、農協など産業経済団体がある中で、本市の規模で部会制を導入する必要性は、本会議の事務局としては感じていないところである。

※委員からの異議等なし。

**(8) 閉会**